

みよみよ通信



みなさんの願いを届け、これからもがんばります！

2015年度の予算を決める3月議会が終わりました。市民の暮らし第一に全力で取り組み、子どもの医療費助成窓口無料化が実現しました。

しかし、相変わらずの大型開発・呼び込み型の公共事業が多く、みなさんの負担はさらに増えることに声をあげました。

3月議会・連合審査会で市長を追及しました！



「ごみの有料化」よりもやるべきことがある！

金沢市は、28年度に向けて「ごみの有料化」を検討することを打ち出しました。ごみの減量化や施設費用のためといいますが、みなさんはどう思いますか？



加賀市では
1枚50円と
市販の5倍以上の値段！

税金の二重取り！

もともと、ごみの収集や処理はみなさんがいつも払っている税金で行っており、それは地方自治法に基づくものです。

市民負担がまた増える！

年金引下げやお給料があがらないのに、消費税増税、介護保険料や国保料UPなど、さらに負担をかぶせるのは許せない！

金沢市ではごみは増えてない！

金沢市ではごみは増えてはいませんし、民間業者が集めた古紙などは資源にカウントされていないなど、ごみ量の把握自体あいまいです。

有料化で、ごみはほんとうに減る？

環境省もしっかりした検証は行っていません。むしろ不法投棄が増える可能性が指摘されています。

他にやるべきことあるんでないの？

行政がこれから予定している施策もあり、市長が増やすと言った「ストアくるステーション」もこれから。行政がやるべき努力もせぬまま、市民に負担を求めるのはおかしい。



「ストアくるステーション」市内6か所に設置された資源回収場所です！

本質は、製造段階から減らすことが必要！

国際的には、製造段階からごみにならない製品づくり、包装の工夫が求められ、またお店などでの過剰包装を減らす努力も求められます。こうしたルールをつくり、指導にあたるのが行政の責任です。

これらのことに、市長は「市民の理解を求める」としていますが、みなさんと一緒に考え、ごみの有料化案はやめるよう求めます！

新年度から増える！

市民の負担&福祉切り捨てメニュー



介護保険料
(基準月額)
5680円 → 6280円

ふれあい入浴券
自己負担
100円 → 150円

18歳から39歳の
検診自己負担
700円 → 800円

40歳以上被保険者
すこやか検診自己負担
900円 → 1000円

大腸がん検診
自己負担
400円 → 500円

子宮頸がん、乳がん、
大腸がん検診の無料クーポン
→ 廃止

高齢者お祝い金
→ 削減

在宅ねたきり高齢者
歳末見舞金
3000円 → 全額カット

高齢施設入居者への
夏季見舞金
3000円 → 全額カット

赤ちゃん夢ギフト
→ 廃止